須恵町 防災ハザードマップ

保存版
令和4年3月作成

【緊急連絡先】
須恵町役場……092-932-1151
粕屋南部消防本部…092-935-5111
粕屋警察署……092-939-0110
九州電力……0120-986-204

【災害時の情報伝達先】
火事・救急は……119
事件・事故は……110

【町からの情報】
須恵町公式WEBサイト
須恵町 検索
https://www.town.sue.fukuoka.jp/
須恵町 LINE公式アカウント

■防災無線テレホンサービス …防災情報等を電話で確認することができます。

0120-8940-55（ヤクショヘゴーゴー）

防災行政無線放送による緊急時（災害時）放送および定時放送を聞き逃した方のために電話（フリーダイヤル）で放送内容を確認できます。

■NTT災害用伝言ダイヤル …災害時の家族等への連絡にご利用ください。

災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

171 にダイヤルし、音声ガイドにしたがう → 録音の場合 1 → 被災地の方は二自宅の電話番号を被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル（市外局番）092-XXX-XXXX → 伝言を入れる（30秒以内）

→ 再生の場合 2 → 伝言を聞く

モバイル用
このホームページは携帯電話からもご覧になれます

※伝言の保存期間は録音してから2日（48時間）です。保存期間を経過した時点で自動的に消去されます。
詳しくは、https://www.ntt-west.co.jp/dengon/

体験利用日
■毎月1・15日（0:00から24:00）　■正月三が日（1月1日0:00から1月3日24:00）
■防災週間（8月30日9:00から9月5日17:00）　■防災とボランティア週間（1月15日9:00から1月21日17:00）

■防災メール配信システム …防災情報等をあなたにお知らせします。

防災メール・まもるくん
© CyberConnect2 Co., Ltd.

福岡県が提供する防災情報等のメール配信システムです。
携帯電話やパソコンに、防災に関する情報や地域の安全情報等をお知らせします。登録は無料です。（通信料は利用者負担です。）

【登録方法】
①空メール送信
送信先／mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp
②HPから登録
アドレス／http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/

【お問合せ先】
福岡県総務部防災危機管理局防災企画課　電話092-643-3114

QRコードからも登録できます
（①空メール送信）（②携帯HP）

■防災気象情報の伝達経路

情報伝達の流れ

防災関係機関：気象庁／福岡県／須恵町

- インターネット：●気象庁ホームページ ●福岡県防災ホームページ ●須恵町役場ホームページ など
- テレビ・ラジオ：●データ放送 ●ケーブルテレビ ●ラジオ など
- 電話：●須恵町役場 ●警察・消防 ●国土交通省・福岡県などの防災関係機関
- メールなど：●福岡県防災メール［まもるくん］ ●緊急速報メール など
- その他：●防災行政無線（戸別受信機、外部スピーカー） ●広報車 など

情報収集／情報配信 → 町民のみなさん

■防災気象情報の入手先

インターネットからの情報

福岡県 防災ホームページ
福岡県　防災　検索
https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/

福岡県 総合防災情報
福岡県　総合防災情報　検索
http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis/info/top/menu

気象庁 警報・注意報
気象庁　警報・注意報　検索
https://www.jma.go.jp/bosai/warning/

ナウキャスト（雨雲の動き・雷・竜巻）
気象庁　ナウキャスト　検索
https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/

キキクル（危険度分布）
気象庁　キキクル　検索
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/

POINT!
【逃げなきゃコール】
スマートフォンアプリなどの地域登録機能を使って、離れた場所に暮らす家族などの大切な人が住む地域を登録して、地域に警戒情報の通知が出された際に、直接電話をかけて避難行動を呼びかける取り組みです。
あなたの「逃げて」が大切な人を災害から守ることにつながります。
逃げなきゃコール　検索

スマートフォンからの情報

NHK ニュース・防災
NHK　防災アプリ　検索
iOS版　Android版

Yahoo! 防災速報
ヤフー　防災アプリ　検索
iOS版　Android版

テレビ（データ放送）からの情報

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの「d」ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認することができる「データ放送」を配信しています。
NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。

土砂災害

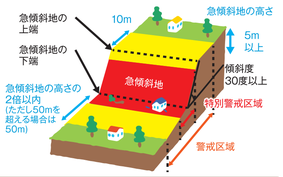
土砂災害防止法について

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
がけ崩れや土石流等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
がけ崩れや土石流等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

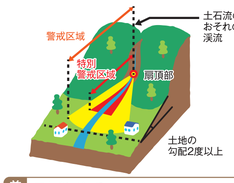
斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震などでゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。



前兆現象
■がけに割れ目が見える。
■がけから水が噴出する。
■がけから小石がパラパラ落ちてくる。

土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって、一気に下流へと押し流される現象です。



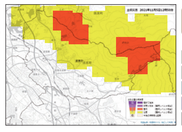
前兆現象
■山鳴りがする。
■川の流れが濁り、流木が混ざりはじめる。
■雨が降り続いているのに川の水位が下がる。

土砂災害警戒情報【警戒レベル4相当】

大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害の発生の危険性が高まったときに、福岡県と福岡管区気象台が共同で土砂災害警戒情報を発表します。
土砂災害警戒情報が発表されたときは「いつ土砂災害が起きてもおかしくない」という非常に危険な状態です。
情報は市町村単位で発表されるので、住民の皆さんの自主避難の判断に活用できます。

土砂キキクル（危険度分布）

土砂災害発生の危険度の高まりを、1km四方（メッシュ）の領域ごとに5段階に色分けして示した情報です。
避難に係る時間を考慮して、土壌雨量指数の2時間先までの予測値（10分ごとに更新）を用いており、警報などが発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



QRコードからも確認できます

- 極めて危険
- 非常に危険【警戒レベル4相当】
- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】
- 今後の情報等に留意

日頃の備え（自助・共助）

日頃の備え『自助』

家族で防災会議をして、我が家の安全対策を確認しましょう。

■家族で防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。
いざというときに、あわてず行動できるよう家族で普段から話し合っておきましょう。
また、災害に備えて家の中と外をチェックし、危険な箇所は早めに改善するようにしましょう。

CHECK! 話し合いたい項目
- □家の付近の浸水状況や、土砂災害のおそれのある箇所の確認
- □災害が起こった時の身の守り方
- □家族間の連絡方法と、最終的に出会う場所
- □災害別の避難行動（避難所とそこに行くまでの経路）

■非常持出品・備蓄品リスト

非常持出品・備蓄品の準備は防災対策の基本です。
リストを参考に、家族構成に合わせて準備しましょう。また、食品の賞味期限や電化製品の故障がないかを定期的にチェックすることも忘れずにしましょう。

非常持出品

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、確認しましょう。

携帯ラジオ
- □ ラジオ
- □ 電池（多めに用意）

懐中電灯
- □ 懐中電灯（できれば一人にひとつ）
- □ 電池（多めに用意）

救急医療品
- □ 処方薬・常備薬
- □ 体温計
- □ ばんそうこう
- □ 包帯
- □ お薬手帳
- □ マスク
- □ 消毒液

非常食品等
- □ 非常用食品
- □ ミネラルウォーター
- □ 缶切り
- □ 缶詰
- □ 紙皿
- □ 水筒
- □ 栓抜き
- □ 紙コップ

貴重品
- □ 現金
- □ 印鑑
- □ 免許証
- □ 健康保険証
- □ 預金通帳
- □ 権利証書

その他
- □ 衣類（下着・上着など）、毛布
- □ 紙おむつ
- □ 生理用品
- □ ライター
- □ ウェットティッシュ
- □ タオル
- □ 携帯電話の充電器
- □ カッパ
- □ 防災ハザードマップ（本書）
- □ ヘルメット
- □ ラップフィルム（止血や食器にかぶせて使う）

非常備蓄品

災害復旧までの数日間（最低3日）を生活できるように確認しましょう。

飲料水
- □ ミネラルウォーター
- □ 貯水した防災タンクなど

非常食品
- □ お米（缶詰・レトルト・アルファ米も便利）
- □ 缶詰・レトルト食品
- □ 梅干し・調味料など
- □ ドライフーズ・チョコレート・アメ（菓子類など）

調理器具
- □ なべ・やかんなど
- □ 卓上コンロ
- □ ガスボンベ
- □ 固形燃料

その他
- □ 生活用水（風呂・洗濯機などに貯水）
- □ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- □ バケツ・各種アウトドア用品など

ローリングストック法
非常持出品・備蓄品などで保管する非常食などを、定期的に消費し、その分をあらためて補充することで、「食べながら備蓄する」ということができます。

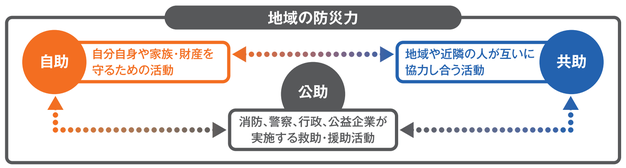
買ってくる → 置いておく → 消費する

日頃の備え『共助』

自主防災組織で地域を守るため、日頃からつながりを深めましょう。

■地域の防災力

【自主防災組織で地域を守る】
災害に強い地域づくりを目指して、災害時の被害を軽減するため、「自主防災組織」の活動を通じて、自助・共助の取り組みを強化し、地域の防災力を活性化させましょう。



■自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域のみなさんが災害に対して協力し合う組織です。
須恵町では、各行政区に自主防災組織が結成されています。

平常時の活動
- ●みんなで学ぼう!…… 防災に関する知識を身につけましょう。想定される災害と対応について話し合いましょう。
- ●地域を点検しよう!… 避難経路に危険な場所がないか点検しましょう。
- ●訓練をしよう!…… 初期消火訓練｜避難所の開設・運営訓練｜避難者の誘導訓練

災害時の活動
- ●初期消火活動…… 身の安全を確保し、消火器などを用いた初期消火の実施
- ●避難誘導支援…… 高齢者や障がいのある人などへの避難誘導の支援
- ●救出・救護活動…… 身の安全を確保し、被災者の救出や救護活動の支援
- ●情報の収集・伝達…… 災害に関する正しい情報を収集伝達
- ●避難所での支援…… 水や食料などの配給支援や炊き出しなどの活動支援

■災害時に特別な配慮を要する人への支援

高齢者や障がいのある人など、災害時において特に配慮を要する人は、地域のみなさんの支援が必要です。

高齢者・病気の人
- ●背負う（または担架、リアカーなどを利用する）などして安全な場所まで避難しましょう。
- ●複数の介助者で対応しましょう。

車いすを利用している人
- ●どのように介助したらいいか、本人に確認しましょう。
- ●階段では2人以上が必要です。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動しましょう。

目の不自由な人
- ●声をかけ、情報を伝えましょう。
- ●誘導する場合は、杖を持った人の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩きましょう。

耳の不自由な人
- ●話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにしましょう。
- ●手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝えましょう。

避難について

5段階の警戒レベル

防災気象情報 警戒レベル相当情報(例)	町が発令する避難情報 警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
警戒レベル5相当情報 ●大雨特別警報 ●氾濫発生情報 など	警戒レベル 5	災害発生又は切迫	命の危険　直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
	＜警戒レベル4までに必ず避難!＞			
警戒レベル4相当情報 ●土砂災害警戒情報 ●氾濫危険情報 など	警戒レベル 4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示(注)
警戒レベル3相当情報 ●洪水警報 ●氾濫警戒情報 など	警戒レベル 3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
	警戒レベル 2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
	警戒レベル 1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。国土交通省、気象庁、県が発表します。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じた自主的に避難するタイミングである
（注）避難指示は、現行の避難勧告のタイミングで発令する

平時に確認

■台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

! あなたがとるべき避難行動は? 必ず取組みましょう

- ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。
- 家がある場所に色が塗られていますか?
  - いいえ → 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。
  - はい → 災害の危険があるので、原則として※、立退き避難（自宅の外に避難）が必要です。
- ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?
  - はい → 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?
    - はい → 警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）
    - いいえ → 警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう
  - いいえ → 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?
    - はい → 警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）
    - いいえ → 警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

例外
※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水してもボがひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は屋内安全確保（自宅に留まり安全確保することも可能です。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

出典：内閣府 避難行動判定フロー

避難の考え方（立退き避難/屋内安全確保）

避難しようと判断するのは「あなた自身」です。過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。
避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。

避難行動には大きく2つの考え方があります

立退き避難（水平避難）
- ●予想される浸水が2階の床面(3m)以上の場合
- ●土砂災害による家屋倒壊などのおそれがある場合
- ➡ 安全な場所まで立退き避難
- 夜間に大雨が予想される場合 明るい時間帯での予防的避難

屋内安全確保（垂直避難）
- ●予想される浸水が2階の床面(3m)未満の場合
- ➡ 自宅内の高い場所へ避難
- ●屋外への避難がかえって危険な場合
- ➡ がけや山から離れた部屋へ避難

避難のポイント

避難する前に
電気のブレーカーを落とし、ガスなどの火元を閉め、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

一人暮らしのお年寄りなどには気配りを
近所の一人暮らしのお年寄りや病気の人がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。

車での避難は控えて
車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

浸水した道路を通る場合
水路には十分注意して、できるだけ高いところにある道路を選びましょう。

速やかに避難しましょう
避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には消防団員などの指示に従いましょう。

避難のポイント（洪水編）

動きやすい服装で
ヘルメットで頭を保護し、運動靴をはきましょう。裸足・長靴は危険です。

足元に注意
浸水すると足元が見えなくなり、側溝やマンホールに気付きにくくなるので、長い棒などを杖代わりにして歩きましょう。

逃げ遅れた場合は
50cm以上浸水している場合や夜間の避難は非常に危険です。自宅の2階など高いところに避難して安全を確保してください。

その他の注意点
- ●橋はなるべく渡らないようにしましょう。
- ●大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。

避難のポイント（土砂災害編）

危険を感じたらすぐに避難
土砂災害の前兆現象に気付いたら土砂災害警戒情報が発表されたりした場合など、身の回りの危険を感じたら、早めに近くの安全な場所へ避難してください。

他の危険区域を通らない
避難する際は、土砂災害警戒区域など（イエローゾーン・レッドゾーン）をなるべく通らないようにしましょう。
ハザードマップで区域を確認してください。

やむをえず屋外に避難できない場合
屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。

雨がやんだ後も注意
これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。

洪水

氾濫の種類

外水氾濫

本流から水があふれて起きる浸水などの氾濫

大雨によって川の水が増え、水位が上がり始める。
堤防いっぱいに水が増えると、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりして、周辺が浸水する。

内水氾濫

水路などから水があふれて起きる浸水などの氾濫

平地に降った雨は、側溝や水路などを通って川に排水される。
側溝や水路の排水能力を超える大雨が降ると、側溝や水路からあふれだし、道路や宅地が浸水する。

雨の降り方と強さ

1時間雨量などの予報用語は気象庁やニュースなどの気象情報でよく使われています。このイメージを参考に雨の降り方に注意しましょう。

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	記録的短時間大雨情報
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨（気象台が発表）

※今いる場所で雨が降っていなくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

危機管理型水位計

洪水時のみの水位観測に特化した小型で低コストな水位計で、川の水位が上昇した時に自動的に作動して水位を観測します。（平常時は1日1回のみ）
須恵町には古宮橋（古宮交差点近く）に1基設置されています。

河川水位と危機管理型水位計は、こちらのQRコードから確認できます。
福岡県 総合防災情報

洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）

中小河川の洪水災害発生の危険度の高まりを、5段階に色分けして示した情報です。
避難に係る時間を考慮して、3時間先までの雨の予測値（10分ごとに更新）を用いており、洪水警報が発表されたときに、どの川で危険度が高まっているかを把握することができます。

QRコードからも確認できます

- 極めて危険
- 非常に危険【警戒レベル4相当】
- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】
- 今後の情報等に留意